

笹埜能史展

SASANO YOSHIFUMI

S L O T H E A T E R

ナ
マ
ケ
モ

考えた
眠りたい
しかべり
たい



SLOTHEATER
SLOTHANKS SLOTHEMES
SLOTHERAPY SLOTHINKING
SLOTHUNDER SLOTHANATOS

会期: 2024年12月12日(木)~24日(火)

休館日: 毎週水曜日

開館時間: 10時~18時

観覧料: 無料

会場: 宝塚市立文化芸術センター1階キューブホール

主催: 宝塚市立文化芸術センター

(指定管理者: 宝塚みらい創造ファクトリー)

後援: 神戸新聞社

笹埜能史

ナマケモノガタリ

2024年12月12日(木)～24日(火)

60年前、小学4年生の私に学芸会で与えられた役がナマケモノでした。

動物の集まる賑やかな場面に出演することはなく、騒動の後、誰もいなくなり散らかった広場に、ぽつんと登場します。

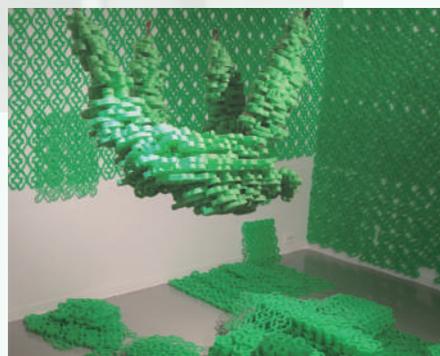
落ちている果物をかじりながら、一言の台詞、「残り物には福があるー」・・・幕。

この不可解な劇以来、私の中に住むナマケモノは、時に急ぐ私に問いを発したり、生き方のヒントをくれたりしました。

今回、その記憶の住人と「7つの物語」について対話をしながら制作。言葉とモノまた連想と感受が戯れ、散らかった広場のような空間になりそうです。

お訪ねくだされば小さな「福」が現れるかもしれません。

笹埜能史(ささの よしふみ)



処分とUFO 2018

笹埜能史 プロフィール

1954年 兵庫県生まれ
1981～2015年 宝塚市にて図工専科教員
阪神・淡路大震災を契機に現代美術の表現、発表を模索し始め現在に至る
個展

2018 処分とUFO (gallery H.O.T)
MIMIC & UFO (創治朗 art gallery)

2019 DENKEN (city gallery 2320)
good-by Danch (Triangle gallery)

2020 象の鼻 (gallery H.O.T)

2021 境界と手袋 (宝塚市立文化芸術センター)
グループ展

2018 凹凸版展 (東京都美術館)

2020 We Age (京都芸術センター)

2021 ギャラリズム (Pias gallery)
ギャー旅 (宝塚市立文化芸術センター)

2022 ROBAO と SASAMARU
No Sider (宝塚市立文化芸術センター)
展会議 (海月文庫アートスペース)

2023 下町芸術祭 (新長田 JSR) 他



通勤環 2009



FeeryMeery 2020



象の鼻 2020

「ナマケモノと語る」をコンセプトとした本展で表現されるのは、笹埜の持つナラティブ(物語)です。幼い日の思い出、少年の頃の風景、作家としての迷いや挑戦、世界について、老いについて、そして死の欲動についての思索。笹埜のこれまでとこれからの道行きを「7つの物語」を通して展開します。

SLOTHEATER(=sloth/ ナマケモノ+theater/ 劇場)にぜひお越し下さい。

会期中イベント(展示会場にて)

ギャラリートーク

12月14日(土) 14:00～15:00
ゆるりとナマケモノ語り

DANCE on SLOTHEATER

升田 学 (ダンサー・美術家)
12月22日(日) 15:00～16:00
～呼応する身体・パフォーマンス

(無料・自由にご参加ください)



Voulturing Horse 2019



SLOTHUNDER 2024

宝塚市立文化芸術センター

会場 1階キューブホール
開館 10:00～18:00 水曜日休館
兵庫県宝塚市武庫川町7-64
TEL 0797-62-6800
<https://takarazuka-arts-center.jp/>

